

宝島の話



▲真夜中の漁に向かう参加者たち

草木も眠る真夜中の漁を体験

9/19・20
新和

～夜の仕切網漁体験ツアー～

9月19・20日、宮南半島ツーリズム推進協議会主催による「夜の仕切網漁体験ツアー」が1泊2日で行われ、県内外から親子連れなど30人が参加しました。仕切網漁体験では、午前3時に仕切網が仕掛けられている宮地浦湾に向けて出発。物静かな暗闇の海で、ライトなどの明かりを頼りにしながら、逃げ回る魚を泥まみれになって捕まえていました。このほか、魚のすり身作りやカヌー体験などを実施。参加者は、海での貴重な体験を満喫していました。

夕暮れのビーチで太鼓や映画を楽しむ

9/21
倉岳

～サンセットメモリーズinえびすビーチ～

9月21日、倉岳えびすビーチで「サンセットメモリーズinえびすビーチ」が開かれました。これは、地域づくり団体・くらたけ応援塾が、同ビーチを活用してまちづくりを行おうと昨年からの実施。イベントでは、特設ステージで勇壮なえびす太鼓などが披露されたほか、夜には同ビーチに設置されたスクリーンで、地球温暖化をテーマにした映画を上映。訪れた200人の観客は「外で映画を見るのは雰囲気違っておもしろかった」と大喜びでした。



▲軽快なばちさばきを見せる「えびす太鼓」の皆さん

須子のまちづくりに誘われて

8/29
有明

～うちわEBI'sが須子地区を訪問～

8月29日、熊本県立大学の学生で「天草Webの駅」の活性化に取り組む『うちわEBI's』のメンバー6人が、須子地区を訪れ取材を行いました。これは、同地区振興会（川口敏勝会長）の特色あるまちづくりを同駅上で知り、興味を持ったことがきっかけ。学生たちは、川口会長らの案内で地区の名所やグルメスポットなどを巡り、道行く住民にインタビューを行うなど、豊かな自然環境のすばらしさや人のやさしさに触れ、有意義な時間を過ごしていました。



▲川口会長(右端)の説明を受ける学生の皆さん



▲救命訓練を熱心に行う参加者

安全で安心して暮らせるまちを目指して

9/27
栖本

～栖本地区防災訓練～

9月27日、栖本地区一円で「栖本地区防災訓練」が行われました。これは、同地区自主防災会と市消防団栖本方面隊、市栖本支所が合同で行ったもので、今年で2回目。訓練は、台風接近に伴う暴風雨で、土砂災害や河川のはらんなどが発生したとの想定で実施。同支所に設置された災害対策本部と連携を取りながら、避難訓練や救命訓練などを行いました。参加した地区住民約900人は、万一の災害に備えて真剣に取り組んでいました。



▲ジャガイモの植え付け方法を熱心に聞く児童

農業に親しみ大切さを学ぶ

9/11
本渡

～耕作放棄地を活用した農業体験～

9月11日、本町地区の農地で青年農業者と本町小学校の児童による野菜の植え付け作業が行われました。これは、耕作放棄地の解消や農業への理解を深めてもらうことなどを目的に、市青年農業者クラブ（大塚陽介会長ほか22人）が実施。この日は、同クラブが再生した411㎡の農地に同校の児童14人を招き、ジャガイモやニンジンなどの植え付けをいっしょに行いました。大塚会長は「農業のおもしろさや収穫の喜びを知ってもらえれば」と話していました。

創立20周年で鳥居を寄進

9/27
牛深

～かつご会・創立20周年記念イベント～

牛深町の秋祭りで神輿を担いでいる「かつご会」（田中開会長）が創立20周年を迎え、9月27日に牛深八幡宮で記念イベントが行われました。イベントは、まず江戸中期から伝わる「神輿かつぎ唄」でスタート。その後、同会メンバーが再建、寄進した第1鳥居の除幕式が行われました。

また、沿道では「神輿がぶり」のほか、同宮境内においては、神輿を激しく練り回す勇壮な担ぎなどが披露され、訪れた見物客からは大きな歓声や拍手が送られていました。



▲寄進した鳥居をくぐる「かつご会」の皆さん

無事故を誓いパレード

9/18
河浦

～秋の全国交通安全運動推進大会～

9月18日、一町田公民館で「秋の全国交通安全運動推進大会」が行われました。これは、同21日から30日までの同運動にあわせて、市の牛深・河浦地区交通安全推進委員会が毎年実施しているもの。大会には、同地区の交通指導員など150人が参加。交通安全功労者表彰のほか、天草相撲甚句会会長・阿部照喜さんによる交通安全にちなんだ相撲甚句が披露されました。その後、参加者は同地区内でパレードを実施し、交通事故防止などを呼びかけました。



▲交通安全パレードに出発するようす